

沖縄平和研修 開催！

～現地・現物・現人から学ぶ～

4月21日～23日にかけて盛岡地本主催の「沖縄平和研修」に青森駅連合分会・盛岡運輸区分会・一関運輸区分会の青年部、地本を合わせて10名が参加してきました。沖縄は日本で唯一の地上戦が行われた場所です。現在も日本の米軍基地の約70%が沖縄県に集中しており、米軍人による事件や犯罪、米軍機による事故等が多発しているのが現状です。そのような沖縄の過去と歴史を学ぶことで平和について、自分の命について考える研修でもあります。初日は嘉数高台公園（普天間基地）、平和祈念公園（平和の礎・韓国人慰霊塔）に行きました。二日目は辺野古座り込みテント村を訪れた後、優美堂で昼食を取り、ひめゆり平和祈念資料館、系数アブチラガマ、魂魄之塔、荒崎海岸の流れで学習してきました。最終日は首里城と国際通りを巡りました。

参加した青年部員からは「沖縄は日本であって、日本ではないと感じた」、「実際に現地に訪れ、現物を自分の目で確かめ、現人に話を聞かないと真実はわからないと感じた」、「平和を目指すこと、戦争や基地に反対することに対しての温度差を感じた」などの感想がありました。研修を通して言えることは、戦争は加害者と被害者が存在しますが両者ともいい思いをしないということです。得をするのは国の偉い人や国家の一部の人だけであり、そこで生活し暮らしている国民は苦痛を強いられ、普通の生活すらできないのが現実です。改めて沖縄の方々の平和への思いや考えを感じるが多かった研修でした。今回感じた事を青年部員と共有し平和への意識を高めていきます！！

戦争の犠牲者約24万人の名前が

刻まれている「平和の礎」



なんと... 座り込みをはじめから5482日！

辺野古座り込みテント村



学徒隊から学ぶ、ひめゆり平和祈念資料館！

ひめゆりの塔で献花し黙祷を捧げました



荒崎海岸に追い詰められ自決した

「ひめゆり学徒隊」の慰霊碑



平和に対して無関心でも無関係ではいけない！ これからも命の大切さを学んでいこう！！！！